地元横浜の竹を、都心で有効活用することができるマッチングサイト“たけログ”の提案

～竹を用いた持続可能な社会のしくみ～

横浜の竹林所有者

＜課題＞

竹の需要が減っていて、竹が余っている

＜解決策＞

都心の小学校に活用してもらう

利用者を紹介

登録

たけログ

竹を利用してほしい横浜の竹林所有者と竹を授業で扱いたい都心の小学校を結びつけるウェブサイトのようなもの（“食ベログ”の竹バージョン）

竹林所有者を紹介

登録

竹

都心の小学校

＜課題＞

都市開発が進んで、自然とふれあう機会が少ない

＜解決策＞

東京近郊の竹林を活用する

有効活用してもらえれば処分する手間や費用が省ける

竹林所有者と小学校それぞれにインタビューした結果、課題を解決するだけでなく、プラスαのメリットもあるとのことだ。

自分の手でモノをつくる良い経験にもなる

＜たけログが提供出来ること＞

東京と横浜は距離が近いので、竹を一度にたくさん運ぶことが出来る。
また、学校や生徒が直接採りに行くことも可能であり、それ自体が貴重な体験にもなる。
竹林所有者と小学校との新たな交流が生まれるきっかけづくりになる。

＜このしくみが生まれた背景＞

森林保全には竹の活用が有効であることが、世界的に注目されている。
老若男女問わず、環境について認識しておいた方がいい世の中である。
さまざまな分野でSDGsが求められている時代である。

＜規模の参考＞

・横浜市の竹林面積は229ha
・竹は4m²に1本の割合で生える
・東京23区の小学生は約40万人

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標